左翼が自ら脫退して、右翼指導下の大衆との接觸の紐帶を自ら斷ち切るが如き分裂主義に陷つてはならぬことである。左翼の鬪爭は活動し易い容易な道を求むることにあるのではなく、飽くまで大衆團体の內部にふみ止まり、忍耐強き鬪爭に依り、大衆を獲得し、社會ファシスト共と徹底的に抗爭し、彼等を完全に大衆から切り離し、て大會から除外することに努める。しかし乍ら、彼等の除名通牒は決して怖るゝに足りない。除名されたから大會に出られないと考へるのは彼等の手段に乘る者である。眞實に除名する力は大衆の意思である。大衆の意思を無視する彼等の除名處分こそは、彼等自身を大衆から切りはなすものであることを忘れてはならぬ。彼等はテロを以て反對派の代表の席を拒むかも知れない。が反對派は自己の自衛團を組織し、又革命的勞働組合員に守られて威力をもつて乘り込まなければならぬ。

(七)組合費及機關紙等に關して反對派は明確な方策を持たなければ

財團法人 協調會